

新規・継続等	新規	分野	補完的な道路の整備		事業番号	86	事業名	県単道路改築				
市町村名	佐久市		ふりがな箇所名	(一)上小田切白田(停)線		しもあたがり	下小田切		事業年度 (完了年度は見込み)	年度～年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路拡幅工 L=650m W=6.0(12.0)m					当年度未事業進捗率	0%				
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%				
	H23年度実施内容	-					用地補償費ベース	0%				
	事業費計(千円)	全体事業費	H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降残						
		300,000	0	0	0	300,000						
財源内訳	国庫支出金											
	その他											
	県債	270,000	0	0	0	270,000						
	一般財源	30,000	0	0	0	30,000						
箇所評価	観点	評価項目・指標等	評価			部	政策評価課					
			ランク	評点	ランク	評点						
	必要性 (30)	計画交通量	4,000台/日以上	1,500台以上～4,000台/日未満	1,500台未満	A	A	4	4			
		代替道路	唯一の道路である	代替となる道路がある				0	0			
		ネットワーク (道路網)	バス路線である	駅やICなどに通じるまたは役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	A及びBに該当しない			3	3			
			ボトルネック箇所	ボトルネック箇所でない				0	0			
		各事業特有の必要性(安全の確保)	観光地に通じる道路	観光地に通じる道路ではない				0	0			
			4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)	4.0m以上5.5m未満(幅員)	5.5m以上(幅員)			4	4			
		歩道未整備区間に歩道を設置	歩道はあるが不十分であるものを再整備	歩道整備無し	4			4				
		他事業との関連	河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施		10			10				
	小計				25	25						
	重要性 (10)	設計上の環境配慮	環境配慮がされ現実性が高い	環境配慮がされているが現実性が低い	環境配慮をしていない	C	C	3	3			
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路、振興山村、積雪、過疎、地震防災対策強化に位置づけ(2個以上)	緊急輸送路、振興山村、積雪、過疎、地震防災対策強化に位置づけ(1個以上)	特別な位置づけはない			0	0			
		小計						3	3			
	効率性 (20)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上	B/C 1.0～1.5未満	B/C 1.0未満	B	B	5	5			
		事業効果の早期発現	事業年数 3年以内	事業年数 4年～5年以内	事業年数 6年以上			5	5			
		コスト縮減	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	コスト縮減はしていない			0	0			
		小計						10	10			
	緊急性 (20)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	交通事故や落石等の危険がない	B	B	6	6			
		各事業特有の緊急性(医療・福祉・教育)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	医療・福祉の連携に係らない道路			6	6			
		小計						12	12			
	計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い	市町村からの要望	特に要望がない	C	C	3	3			
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者中心に周知	特に周知していない			3	3			
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	特に住民意見は反映していない			0	0			
		小計						6	6			
費用対効果(B/C)		5.4	評価の合計			B	56	B	56			
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は、新直轄方式で整備を行っている中部横断自動車道白田IC(仮称)から国道141号に通ずる唯一のアクセス道路となる路線であるが、現道は幅員狭小で、歩道も未整備であるため、IC開通後の交通量の増加に対応が困難であるうえ、歩行者の安全に一層の支障をきたすことが予想される。中部横断自動車道白田ICの供用開始にあたり、通過交通の円滑化及び沿線住民の安全確保のため早期事業着手が望まれている。										
	地域からの要望経緯	平成18年度に「県道上小田切白田停車場線整備推進協議会」設立。白田IC(仮称)開通までに県道整備を完了するよう要望がある。毎年実施している佐久市との地域づくり意見交換会において事業化の要望がある。(H22年度は6月3日に開催)										
	事業説明等の経緯	平成19年3月整備方針を地元へ説明以来、整備促進協議会及び下小田切区への説明及び協議を重ね、平成22年10月に整備促進協議会区の説明会において、現道拡幅の方針が了承され、計画の方向付けがなされた。平成23年に入り計画に反対する住民の署名が提出された。										
	環境・景観への配慮項目	現道を極力活かす線形により、地形改変を極力少なくするルートを検討している。										
	他事業・プロジェクトとの関連	中部横断自動車道白田IC(仮称)アクセス道路。										
特記事項	地元における県道の整備方針に時間を要する。											
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他							
部意見	計画熟度が低いため事業を見送りたい。				政策評価課意見	計画熟度がやや低い。						